

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

- きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:30
8月 4日 自然博物館へ行ってみよう!
8月11日 「紀伊山地の霊場と参詣道」
世界遺産登録15周年
8月18日 いよいよオープン!
南紀熊野ジオパークセンター
8月25日 知事と語る

県民チャンネル
月・火・木・金・土曜 21:55

マンスリー県政 ニュースワイド
毎月最終金曜19:30~19:59

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。

ラジオでお届け! 県政最前線 火曜 15:40~16:00
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。



知事メッセージ

県民の皆様へ



現場が一番

よく企業のトップや政治行政のトップが「私は現場が一番という信念でこれまでの人生を生きてきました。あらゆる事は現場に大事な事があるんです。」と言っているのをお聞きします。

まことにその通りだと思っています。空理空論とか、観念論とか、頭でっかちとかいうものは、この現場の視点を欠いているが故に発生するものだと思います。

我々行政は、人々の幸せを図るべき役割があるのですから、どうしたらよいか対策を考え、それを実現してなんぼの世界ですが、その対策が的を射ていなかったら、人々の幸せが実現できません。だから、その対策が現場の要請に本当に応えているかどうか、いつも気を張って現場と関わらないといけません。

私が昔いた経済産業省は、大上段の経済政策も語るが、実際の業界も所管しています。業界の方々の意見によく耳をそばだてていると、大上段の政策が時宜を得ているかどうか自ずとわかります。現場がすぐそこにあったのはよかったです。

でも、県庁の政策全般を考えてみますと、所掌範囲は広いので、中にはよほど現場に分け入り、現場を理解し、現場の声をくみ取る努力をしないと、デスクワークだけの頭でっかち発想になるおそれもある分野もあります。だから私は、「現場一番」ということを職員に説き、自らもできるだけ現場に出かけようと心がけはしています。

しかし、産業界の方々と話をしたりしているだけが現場ではありません。出かけていった実際の病院や障害者福祉施設、高齢者福祉施設、児童相談所、保育施設や各種の学校、工場や農林水産業の現場、工事現場など本当の現場では、言葉で言い尽くせないような苦勞をしながら社会を支えてくれている人々が働いています。

見るにつけ、聞くにつけ、頭が下がります。このような人々が働く現場が立ち行くように我々行政も必死で支えなければなりません。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

第32回全国健康福祉祭和歌山大会
ねんりんピック 紀の国わかやま2019
あふれる情熱はじける笑顔
令和元年11月9日(土)~12日(火)

ねんりん通信 13



天翔いら氏



坂本冬美氏



早田卓次氏

総合開会式・閉会式の観覧者を募集中です!
大会の始まりを華やかに盛り上げる「総合開会式」と、思い出が深く刻まれる「総合閉会式」の観覧者を募集しています。坂本冬美氏をはじめ、和歌山ゆかりの著名人も多数出演しますので、みなさまふるってご応募ください。(8月30日必着)
※詳しくは、公式ウェブサイト又は下記連絡先まで

問 ねんりんピック紀の国わかやま2019
実行委員会事務局
☎073-441-2570 ねんりん 和歌山

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032

手話表現紹介動画はこちらから